

あきる野市

第26号

町・自連会報

発行 / 平成27年2月28日 発行者 / 中村 勇 編集 / あきる野市町内会・自治会連合会会報部会



二十六年度を顧みて

あきる野市町内会・自治会連合会

会長 中村 勇

昨年の四月に五十二町内会・自治会の会長が交代いたしました。

会長職の交代は、会長を選ぶのではなく、地域の文化と伝統を繋ぐと言う意味も含まれていると考えられます。

日本には古来より、その時々心温まる挨拶言葉が多くあります。「お早うございます」「御機嫌よう」その他、多くの挨拶言葉があります。

全ての挨拶言葉には、心のコミュニケーションづくりと健康を祝し、また、祈つていませすと言つ意味が含まれていると思ひます。「和」とは、わかり合い、いたわり合う、素晴らしい時間、人の声と声が調和する、なごむ、やわらかいという意味があると思ひます。

難しく考えることなく、自分たちが出来ることから一つずつ心がけていくべきではないでしょうか。

五月はスポーツ・レクリエーション大会が実施され、一日楽しく会員相互の親睦が図られました。

秋の産業祭には、連合会展示場を設置し多くの市民の方々に加入促進「絆旗」と救急医

療情報キット等の呼びかけと町内会・自治会の組織の重要性を多くの方々に訴えました。

また、野外ステージでは、「地域の絆を深めよう！」をテーマに町内会・自治会の子供たちがダンスを披露し会場を盛り上げました。

視察研修では、平成二十三年三月十一日の東日本大震災で地震・津波により甚大な被害がありました。福島県小名浜津波被災地・塩釜崎の視察と体験談を伺い想像を絶する光景と記録写真で説明を受けました。

自然災害には人の力は無力で、いつ起こるか予想がつかない災害に対する心がけを、平時より心がける必要性を痛感いたしました。

会員の皆様におかれましては、安否確認旗「無事」の重要性と日頃より「自助」と「共助」を構築する協力をお願いいたします。

昨年は日本各地で自然災害が発生し、改めて地域力・防犯力の重要性を認識いたしました。

連合会の目的達成と安全・安心な地域づくりのため、会

報の発行『町内会・自治会への加入促進』『救急医療情報キット』等の各部会活動と創意工夫し継続していきます。

二十七年は、あきる野市制施行二十周年を迎え、全国各地芝居サミットの開催など多くの記念行事が計画されております。

連合会といたしましては、この機会を更なる活動の元年と捉えて、皆さんと協働して目的達成のため努力して行きたいと考えています。

行政当局をはじめ、連合会会員各位のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十六年度 あきる野市総合防災訓練

五日市地区防災・安心地域委員会委員長 今野 治雄

平成二十六年十一月二十三日(日)に、あきる野市総合防災訓練が、五日市中学校校庭をメイン会場とし、午前八時三〇分の全国瞬時警報システムのサイレンを合図に、地域ぐるみの防災体制の確立、防災対応関係機関の連携、円滑な応急活動の実現を目的に実施された。

五日市地区においては、地域住民がメイン会場に避難を完了する時刻を九時に設定したうえで、各自主防災組織や地域防災リーダーを中心に災害発生時の自身の安全確保から、安否確認旗の玄関先への掲示を通じた隣組での助け合い、さらに配備済のリヤカーを使った要援護者の避難活動及び、避難者カードの記入など、総合的な避難訓練を実施した。

また、地域委員会と無線機を使用した避難状況の伝達訓練を実施した。各自治会の一斉集合場所約千二百名、メイン会場への避難者は約八四〇名と、多数の参加者の確認ができた。



市からのお知らせ
 「コミュニティ事業交付金」を
 活用した新たな事業で地域コ
 ミュニティが活性化。

市では、平成二十五年度から「コミュニティ事業交付金」制度を設け、町内会・自治会が地域の課題解決や住みよいまちづくりを推進、地域力の向上を図る新たな事業に対して支援をしています。
 町内会・自治会は地域コミュニティの活性化のために、防災活動、防犯活動、見守り活動、生活環境整備及びレクリエーションなど、様々な活動を行っています。

しかし、新しい事業をやりたくても予算が足りなくてできないという、町内会・自治会があります。このような町内会・自治会に対して、財政的支援を行います。

平成二十五年度は二十七事業が行われ、平成二十六年度は三十二事業が交付決定を受けましたので、これまでに行われた事業を紹介します。

また、東京都の「地域の底力再生事業助成」に対する「活動支援資金貸付金」制度も設けていますので、活用してください。

平成二十七年度も、多くの町内会・自治会が積極的に早めに、事業に取り組んでいただけることを期待しています。

問い合わせ
 地域防災課地域振興係

(電話 558-1394)

平成 25 年度事業

町内会・自治会名	事業名 [内容]
地域活性化事業	
東町自治会	グラウンドゴルフを通しての地域活性化事業
秋川ハイツ自治会	若手自治会員の自治会活動参画による地域の絆の強化事業
上宿自治会	地域のコミュニティ活性化事業 [子どもたちによる囃子発表会・歌謡大会等]
下町自治会	祭はやし承継による地域のつながり事業
小宮町内会	伝統文化の継承と地域交流事業 [灯籠流しの継承と世代間交流]
上代継町内会	グラウンドゴルフの普及で地域の和を高める地域活性化事業
仲町自治会・小庄自治会 (協働会)	世代を越えた地域住民の交流事業 [グラウンドゴルフ、輪投げ等の親睦会]
下館谷自治会	地域の活性化及び友愛と絆を作る [グラウンドゴルフを通しての地域活性化]
瀬戸岡町内会	グラウンドゴルフを通しての地域活性化事業
西ヶ谷戸町内会	町内のふれあい作り [昔話を通しての世代間交流]
羽ヶ田町内会	地域力向上のための高齢者と子供の交流事業 [昔遊びの世代間交流]
油平自治会	多文化共生社会の地域づくり事業 [子どもから高齢者及び外国人との交流]
雨間町内会	町内会各種役員の人材発掘事業 [人材発掘事業の勉強会及び研修]
生活環境整備事業	
横沢自治会	S . P . C 活動 (Safety.Peace.Clean) [道路沿道などの除草活動]
寺岡自治会	自治会内の道路脇の樹木等の伐採事業
雨間町内会・牛沼町内会 (協働会)	あきる野市立南秋留小学校周辺美化活動 [樹木の伐採及び清掃]
新宿自治会	新宿環境美化事業 [道路沿道の草刈、花壇整備]
軍道自治会	生活環境整備事業 [ガードレールの清掃及び除草事業]
安全・安心対策事業	
西秋留地区	A E D 設置と A E D 取扱及び応急救護者養成事業
小宮久保町内会	防犯対策事業 [警察、公安委員、安協等の講師による防犯対策講習会]
二宮町内会	安全・安心対策事業 [3地域を交代しパトロールを行い問題意識を共有した見守り活動]
増戸地区	A E D 設置及び A E D 取扱指導者養成事業
油平自治会・油平本町町内会 (協働会)	地域環境の整備と安全・安心共助づくり事業 [高齢者宅の除草と剪定]
地域資源の活用事業	
網代自治会	網代自治会「文化財指定」記念セミナーと小冊子の作成
加入促進事業	
町内会・自治会連合会	加入促進を目的とした「あきる野町内会・自治会音頭」の制作、普及
町内会・自治会連合会	未加入者に対する P R 活動 [産業祭会場での P R 活動]
下引田町内会	新規転入者に対する町内会会員加入促進事業 [新興住宅地でのイベント開催]



各町内会・自治会のコミュニティ活動

平成 26 年度事業

町内会・自治会名	事業名 [内 容]
地域活性化事業	
中村自治会	中村自治会文化祭 [写真、習字、俳句、絵手紙などの作品展示]
中平自治会	うえむら遊びの広場 [子ども達への遊びの提供]
二宮町内会	グラウンドゴルフを通しての地域活性化事業
小宮町内会	サマーフェスタ [町内会と子供会などの4団体によるイベント開催]
上引田町内会	グラウンドゴルフを通しての地域活性化事業
仲町自治会・小庄自治会 (協働会)	地域住民の3世代交流事業 [多目的に活用できる広場の整備]
高尾自治会	地域活性化事業 [清掃を通して子供同士と大人の交流と郷土愛を育む]
菅生町内会	グラウンドゴルフを通しての地域活性化事業
中引田町内会	グラウンドゴルフを通じた地域活性化事業
小川町内会	小川町内親睦ハイキング [小川会館から滝山城址公園をハイキング]
羽ヶ田町内会	楽しく続けられるウォーキング [歩数を距離換算して東海道を歩く]
網代自治会	青少年の育成と世代間交流イベント [網代ソーランの披露]
原小宮町内会	地域交流作品展 [水彩画、アート、陶芸などの作品展示]
新宿自治会	新宿自治会コミュニティ活動推進事業 [高齢組長の支援など]
油平自治会	高齢期の生活を支える地域ケア構築事業 [介護士の講演及び意見交換会など]
生活環境整備事業	
下引田自治会	あきる野100景「六枚屏風岩」対岸、秋川左岸遊歩道の花壇整備
草花町内会	公園及び沿道の除草作業による美化活動の推進
栄町自治会	高齢者、母子家庭、身障者等の見守り兼植木等の刈込剪定奉仕
雨間町内会・牛沼町内会 (協働会) 継続事業	あきる野市立南秋留小学校周辺美化活動 [樹木の伐採及び清掃]
戸倉西部自治会	自治会館敷地整備と自治会内公道沿い歩道の美化と歩行安全確保
森山町内会	森山会館周辺エリアの環境整備と会員協力体制定着化 [笹刈り及び除草など]
瀬戸岡町内会	地域内における通学路等の安全確保事業 [道路沿道、公園などの草刈]
高瀬町内会	生活環境整備事業 [会館周辺及び河川の遊歩道などの環境整備]
横沢自治会 継続事業	S . P . C 活動Ⅱ(Safety Peace Clean)[大悲願寺階段等の樹木の剪定、伐採など]
安全・安心対策事業	
三内自治会	三内地区冬季安全・安心事業 [除雪備品の充実と除雪マニュアルの作成]
軍道自治会・寺岡自治会 (協働会)	降雪時における除雪対策事業 [除雪機の購入及び教育資料の作成]
西ヶ谷戸町内会	西ヶ谷戸地区冬季安全・安心事業 [除雪備品の充実と除雪マニュアルの導入]
小中野自治会	小中野地区安心・安全事業 [防犯講習会や危険区域を見回る歩こう会の開催など]
東秋留地区	A E D 設置及び A E D 取扱指導者養成事業
地域資源の活用事業	
深沢自治会	深沢の里資源活用事業 [観光案内人形 (ジージー) の製作及び設置]
加入促進事業	
平沢町内会	町内会便りの発行 [町内会活動などを紹介した町内会便りの配布]
町内会・自治会連合会	会員の団結と非会員に対する加入促進事業 [絆ステッカー、のぼり旗の配布及び設置]

あきる野市町内会・自治会連合会の三部会紹介

あきる野市町内会・自治会連合会には、会報部会・加入促進部会・救急医療情報キット部会の三部会が設置され、町内会・自治会連合会の活動動向、未加入者への加入促進、救急救助活動の推進等に取組んでいます。

●会報部会

連合会の事業計画や活動状況等を会員の皆様にお伝えするほか、情報等を共有し、安心・安全な地域づくりのため、会報の発行を行っています。

会報には、連合会の活動状況や町内会・自治会が必要としている情報の提供や各地域の話題や特別な活動を掲載しています。

連合会の動向が会員の皆様に身近なものとしてお届け出来るよう、ご意見や地域の話題等を取り入れ、さらなる紙面の充実を図っていきます。会報は八月末日と二月末日の年二回、発行しています。

(会報部会長 野崎 忠)



●加入促進部会

町内会・自治会連合会には、加入促進部会があります。

加入促進部会では、町内会・自治会に未加入の世帯に、会の素晴らしさを知ってもらい、加入を促す目的で活動しています。

平成二十七年九月一日に、あきる野市制施行二十周年を迎えるのに合わせ、今年度はロゴマークと絆をデザインしたのぼり旗・カーステッカーを作成し、のぼり旗は各地区

の会館やイベント会場等に設置しました。

カーステッカーは、会員全世帯に配布し、リヤー・ウィンドーに貼っていただき、会員相互の「絆」の大切さを再認識していただくと同時に、未加入者に対して、加入を促してまいります。

動く広告塔として、皆様の協力をお願いいたします。

(加入促進部会長

木下 優)

●救急医療情報キット部会

あきる野市町内会・自治会連合会では救急医療情報キットの運用を開始して、四年が経過しました。昨年末、あきる野市全域で登録者が約四千名となりました。連合会では運用当初の趣旨の「緊急時・災害時には一人も見逃さない」を再認識し、昨年、二回のキット配布申込強化月間には各町内会・自治会で回覧を作成し、希望者を募りキットを配布しました。

また、秋に開催された、あきる野市主催の産業祭には、導入推進のPRを行ないました。この出展では、キットの保管場所である冷蔵庫を持ち込み、実際に即した展示もしました。

冷蔵庫は比較的頑丈なこと、何処の家にもあることから決められています。

緊急時の確かな対応また、いつあるか解らない災害時、万一の事態に、最低限の個人情報

は、自治会、市役所及び秋川消防署で共有しつつ、救急医療情報キットの活用で、安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進したいと考えております。

現在、あきる野市には六十歳以上の方が約二万二千人、人口の約二十七%を占めています。

登録対象年齢六十五歳以上の一人暮らし、或は高齢者世帯、障がいをお持ちの方、または、健康上不安をお持ちの方等を考慮し、多くの方々に導入推進を図って行かなければならないと考えております。

(救急医療情報キット部会長

御手洗 泰弘)

祝 あきる野市制施行20周年
絆とおもいやりの心を大切に

加入しよう
町内会・自治会
ステッカー貼ってね



の個人情報

平成二十六年 度連合会

視察研修報告

幹事長 伊井 晴美

あきる野市町内会・自治会連合会の視察研修を十一月十一日・十二日に実施いたしました。参加者五十七名で、今年度は平成二十三年(2011年)三月十一日に発生した東日本大震災とそれに伴って発生した津波により、甚大な被害を被った被災地・福島県いわき市の小名浜港、そして塩屋崎を視察先に決めました。

塩屋崎に向かう途中には仮設住宅が並び、海沿いにあつた住宅二百世帯は一瞬にして流され、跡形もなく、三年経つた今でも現実とは思えないほどの光景でした。亡くなった方も多く、その中で唯一、津波の押し迫る状況を一部始終記録した方の体験談を聞くことが出来ました。いざ災害が起きた時、何が一番大切かを話してくれました。それは、「地域との連携を取り、協力し合う事」だそうです。改めて、日頃から隣近所との対話も大事ですし、また、一人一人の取り組む姿勢が大切だと感じました。各会長さんと日頃の町内会・自治会活動の様子などお互いに情報交換が出来たことなど、とても有意義な研修旅行となりました。

第四回防災コンクール報告

あきる野市防災・安心地域委員会

本部長 倉田 克治

地域委員会主催の第四回防災コンクールは、十月四日秋川消防署の協力を得て、秋川駅前運動広場で開催しました。防災意識の高揚と災害時に結びつく平常時の活動を目的とし、全地域委員会が参加して行われました。この大会は、西高東低で、昨年は五位までを旧五日市地区で独占しましたが、今年度は、多西地区が二チーム入賞し、面目を保ちました。また、今年も女性チームががんばり、二位に入ったのが光りました。

入賞は、一位戸倉A、二位五日市C、三位多西A、四位多西B、五位増戸Bでした。



自治会 紹介

秋川ハイツ自治会
会長 平嶋 幹雄

【日めくりカレンダーによる高齢者見守り活動】

秋川ハイツ自治会は、あきる野市の東玄関口である睦橋近くに位置し、近くに多摩川、秋川、平井川の清流が流れ環境に恵まれた区域にある。

43年前に企業社員の持家促進として122世帯が戸建住宅に転入した自治会である。従って年齢層も片寄があり高齢化が進行している現状がある。

高齢者のみの世帯40.8%、高齢独居生活者8.3%と高齢化が進み、その対応が重要である。

そこで、4年前よりふれあい福祉委員会と自治会で取り組んできた活動として

* 「向こう三軒両隣」...ご近所で互いに声かけ見守り助け合う活動。

* 「日めくりカレンダー」見守り活動...高齢独居生活者宅玄関内に「日めくりカレンダー」を設置(ガラスごしに外から見える位置)

「日めくりカレンダー」とは?

カセットテープケースに1~31の数字カードを重ねセット ①居住者がその日の数字カードを表示する(午前中の時間帯に) ②近隣者・見守り者は、カードがその日の数字に合って居るかを

確認 ③合っていれば異常なし・違っていれば声かけ実施

居住者が声かけ訪問を要望する場合は、日付けの違った数字を表示する。=この場合は声かけ訪問し要望を聞き対処する。

高齢独居生活者に付いては、特に毎日の見守りが必要である。昨日変わり無かったから今日も大丈夫とはいかない。しかし、毎日玄関まで呼び出したら本人は苦痛である、複数の人が入れ替わり訪問したらいじめになる。高齢者には、足腰の不自由な方、寒い季節には玄関まで出たくない方々、相手の気持ちになった見守り活動、無理のない継続できる見守り活動が必要である。



平成二十六年年度 あきる野市市民表彰

多年にわたり、町内会・自治会長として市行政の推進に貢献された十七名の皆様方が十一月三日まほろばホールにおいて表彰されました。

●市民表彰

- 伊藤 宗武(小倉)
- 小峰 道治(屋城)
- 南 征夫(前連合会長)
- 森田 勝次(高尾)
- 山内 譲(下町)
- 須藤 勲(牛沼)
- 岡部 輝男(養沢)
- 濱崎秀一郎(大塚)
- 石川 稔(草土見台)
- 武内 基(上代継)
- 野島 茂(野辺)
- 栗原 一雄(三内)
- 吉野 俊郎(二宮)
- 宮崎 良之(栄町)
- 大塚 強(留原)
- 栗原 陽(軍道)
- 國井 正司(中村)

役員会・全体会の協議事項

- 平成二十六年
 - 八月十三日(役員会)
 - スポレク大会のアンケートについて
 - 地域懇談会地区別開催日及び開催会場について
 - コミュニティ助成事業によるAEDの設置状況
 - 九月十七日(役員会)
 - 二十七年度コミュニティ助成事業について
 - 視察研修について
 - 部会活動について
 - 十月十五日(全大会)
 - あきる野市一斉清掃(秋季)の実施について
 - 行政配布物の配布委託料の支払い・花いっぱい運動推進事業調査について
 - 視察研修について
 - 十一月十九日(役員会)
 - 防災訓練の実施について
 - 日帰り視察研修の実施
 - 新年会実施に係る検討
 - 平成二十七年
 - 一月七日(役員会)
 - 平成二十六年地域懇談会質疑応答・意見提案集
 - 除排雪作業のマニュアル
 - 新年会の実施細部検討
 - 秋留台公園のパークミーティングについて
 - 各部会報告
 - 二十七年定期総会までのスケジュール
 - 高齢者見守り事業
 - 一月十六日(新年会)
 - 平成二十七年新年会開催
- (注) 印は、連合会協議事項
印は、市からの報告事項

地域の話題

小川熊野神社の大ケヤキ



あきる野市指定文化財 (天然記念物)
昭和50年11月3日指定
あきる野市小川639番地 小川熊野神社境内

このケヤキは樹高が約19m、幹周りは6.9mと非常に太く、堂々とした姿をしています。過去に2度も火災のため火柱をあげ、もう枯れてしまうと心配しましたが、春には見事に芽吹かせた、たくましい生命力を感じさせてくれる御神木です。

「増戸地区防災標語」入選作品

- 小学生の部
 - いつかくる きもちのじゅんび わすれずに 鈴木 翔真(増戸小三年)
- 中学生の部
 - 避難しろ 命を救う 君の声 小泉勇太郎(増戸中一年)
- 一般の部
 - わがまちは 無縁と思うな 土砂災害 中村 金作(大上自治会)

編集後記

昨年の十二月三日、本会報の発行に向けての第一回会報部会が開催されました。束の間に三カ月が経ち、二十六号の発行を迎えました。月日の経つのが早いと感じるのは、私だけなのでしょうが。

さて、本号は紙面を増やし、あきる野市の各町内会・自治会活動に対する「コミュニティ事業交付金」制度について紹介いたしました。

市からの交付金を活用して、地域の活性化、環境整備、防犯等安心・安全な地域づくりに向け、各町内会・自治会が工夫して利用している様子を知ることができました。大変意義のあるこの制度を活用して町内会・自治会活動がさらに充実されると思います。

暮れから新年にかけてのご多用の中、快く執筆いただいた会長の皆様始め、編集、校正等にご尽力いただいた会報部会の皆様に感謝いたします。

- 会報部会 野崎 忠
- 萩原 泰壽
- 沼田 隆治
- 華房 実
- 栗原 正吉